ゆたかさ多彩『生活創造』くまもと

21世紀が視界に入ってきた今、熊本の現状を踏まえつつ、長期的な展望に立ちながらさらに時代を先取りした取組みが求められています。

熊本県では、県民が一体となって取り組んでいく「県民共通の指針」として、また県政運営の指針として、新しい総合計画を策定しました。

●来たるべき二十一世紀に向けて

二十一世紀は、高齢社会を迎え、個々人の価値観やライフスタイルがますます多様化していく時代になるでしょう。

新しい総合計画は、そのような新しい時代の中で、多彩な生活の創造を通して、「一人一人が輝く」熊本を県民の力を結集して作りだしていこうというものです。

●「ゆたかさ多彩「生活創造」くまもと」

子供たちからお年寄りまで、誰もがそれぞれの力を生かしながら、いつも楽しく自由でいられる。そういう豊かで明るい社会を創っていくことが本計画の基本的な目標です。

そして、この目標を達成するためのキーワードは二つ。

県民一人一人が自立し、互いに励ましあう、思いやりにあふれた〝優しいくまもと〟を創ることと、快適な生活環境の整備や県勢が力強く発展していくための基盤となる〝躍動するくまもと〟を築くことです。

●〝優しいくまもと〟を創る社会システムづくり

〝優しいくまもと〟を創っていくために、生活全般にわたって一人一人の自立を支え、思いやりにあふれた、活き活きと暮らせる社会システムづくりに取り組みます。

そのためにも、それぞれの世代や立場に立って、「生活者の視点」から何に取り組んでいくかを考えていきます。

●〝躍動するくまもと〟を築く確かな基盤づくり

〝躍動するくまもと〟を築くために、快適な生活の場となり、活力ある経済活動や内外との活発な交流が図れる確かな基盤づくりに取り組んでいきます。

そのためにも、都市、農村といったそれぞれの地域の特性に応じた「地域の視点」から施策の推進を図ります。

●〝優しいくまもと〟、〝躍動するくまもと〟を目指す戦略プロジェクト

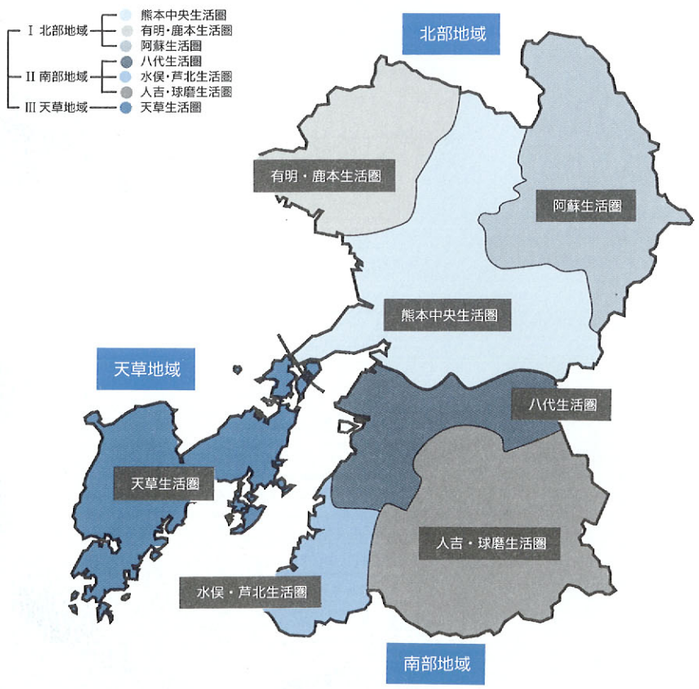
二十五の戦略プロジェクトに重点的に取り組んでいきます。

これらのプロジェクトは、多くの取り組みの中から、七つの「生活者の視点」と、七つの「地域の視点」に立って選びました。

●各圏域の発展方向を具体化する地域戦略プロジェクト

県内各地域において、都市とその周辺の農村漁村を一体的に捉えた「広域的な生活圏」を形成し、バランスのとれた県土をつくっていきます。

広域的生活圏の区分にあたっては、地域の特性や生活面における一体性から県土を大きく三つに区分し、さらに、職、住、学、遊の生活機能を総合的に整備していく広域的生活圏として七つに区分しました。



そして、各圏域の発展方向を具体化するために、八つの地域戦略プロジェクトに重点的に取り組んでいきます。

これらの地域戦略プロジェクトは、各圏域の持つ多くのポテンシャル（発展可能性）に着目し、それらを伸ばし、活かしていく取組みとして選びました。

●計画の推進に向けて

21世紀に向けて、より良い「くまもと」を創りだしていくためには、これまで以上に、県民、企業や団体、行政のそれぞれの力を集め、一体となった「県民総参加」の取組みが必要です。

"優しいくまもと"を創る
社会システムづくり

"躍動するくまもと"を築く
確かな基盤づくり

【7つの「生活者の視点」】

1. 子どもたちが健やかにたくましくはぐくまれるために
2. 若者が個性と創造力を伸び伸びと活かせるために
3. 働く人々が活力とゆとりをもって暮らせるために
4. 女性が個性と能力を十分に発揮できるために
5. 障害者が自立し社会へ進出できるために
6. 高齢者が健康で生きがいをもって暮らせるために
7. 県民だれもが安全で心豊かに暮らせるために

【7つの「地域の視点」】

1. 均衡のとれた発展を目指す
   豊かで文化にあふれた県土づくり
2. 次の世代へ引き継ぐ自然を大切にした快適環境づくり
3. 生活の基盤となる力強い産業づくり
4. 活力に満ち展望のもてる農山漁村づくり
5. 魅力にあふれ賑わいのある都市づくり
6. 都市と農山漁村が一体となった広域的生活圏づくり
7. 世界と交流する開かれた熊本づくり